

## 製品安全データシート

### 【1 製品及び会社情報】

製品名 パワフルドライチェッカー

会社名 都インキ株式会社  
住所 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東 1-7-13  
担当部門 技術課  
担当者 中川 雄介  
電話番号 06-6961-0101  
FAX 番号 06-6961-0303  
整理番号 Z-561-03  
作成日 平成 21 年 3 月 27 日  
改訂日 平成 23 年 1 月 6 日

### 【2 危険有害性の要約】

#### 【GHS 分類】

可燃性・引火性のエアゾール	区分 1
引火性液体	分類できない
急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵）	区分 4
急性毒性（吸入：ミスト）	区分 4
皮膚腐食性・刺激性	区分 3
目に対する重篤な損傷・目刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分 1（神経系） 区分 2（肺） 区分 3（麻酔作用）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分 1（肺、皮膚） 区分 2（肺、肝臓、甲状腺）
吸引性呼吸器有害性	区分 1
水生環境有害性（急性）	区分 2
水生環境有害性（慢性）	区分 2

#### 【絵表示】



危険

#### 【有害性情報】

極めて可燃性／引火性の高いエアゾール  
吸入すると有害  
軽度の皮膚刺激性  
強い眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い  
 臓器（神経系）の障害  
 臓器（肺）の障害のおそれ  
 眠気やめまいのおそれ  
 長期に渡る、または、反復暴露により臓器（肺）の障害おそれ  
 長期に渡る、または、反復暴露により臓器（肺、肝臓、甲状腺）の障害おそれ  
 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
 水生生物に毒性  
 長期的影響により水生生物に毒性

**【安全対策】**

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと  
 加圧容器ですので、使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと  
 裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと  
 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること  
 防爆型の電気機器／換気装置／証明機器／をしようすること  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること  
 火花を発生しない工具を使用すること  
 保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと  
 局所排気内または全体換気のある場所で取り扱い、蒸気が滞留しないようにする  
 指定された個人用保護具を使用すること  
 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと  
 環境への放出は避けること  
 取り扱い後は良く手を洗うこと

**【応急措置】**

火災の場合には、炭酸ガス、泡、または粉末消火器を使用すること  
 飲み込んだ場合には、吐かずに、直ちに医師の診断を受けること  
 眼に入った場合には、水で数分間注意深く洗うこと  
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること  
 衣類にかかった場合は、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと／取り除くこと  
 皮膚に付いた場合は、大量の水と石鹼で洗うこと  
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること  
 暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断／手当てを受けること  
 吸入し呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移動し、吸入し易い姿勢で休息させること  
 気分が悪い時は、医師に連絡すること

**【保管】**

子供の手の届かないところに施錠して保管すること  
 涼しく換気の良い場所で保管すること  
 直接日光の当たる所や温度が40℃以上になる所、錆びの発生しやすい水回りや湿気の多い所、凍結する所には置かないこと

**【廃棄】**

中身を使い切ってから廃棄をする  
 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

**【3 組成及び成分情報】**

成分名	含有量 %	CASNo.	PRTR 法	安衛法 No.	備考
石油系炭化水素	45～55 %	—	非該当	データなし	
LPG 〔イブタン ノルマルブタン プロパン〕	50～55 %	75-85-5 106-97-8 74-98-6	非該当 非該当 非該当	非該当 482 482	可燃性ガス 3種類混合
2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール	8.6	128-37-0	第1種(207)	262	

---

**【4 応急措置】**

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、身体を毛布などでおおい安静保温に努め、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	石鹼と精水で洗い流す。 作業後、手などの皮膚に付いたものを良く洗わずに放置するとカブレ等の症状を起こすことがあります。
目に入った場合	清浄な水で十分に目を洗浄した後、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで、速やかに医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。

---

**【5 火災時の措置】**

消化剤	霧状の消火液、泡、粉末または炭酸ガス消火剤が有効である。消火に棒状の水を用いてはならない。
消火方法	火元への燃焼源を断つ。 初期の火災には粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。 大規模火災の際には泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。 注水は火災を拡大し危険な場合がある。 周囲の設備などに散水して冷却する。 消火作業の際には風上から行き必ず保護具を着用する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

---

**【6 漏出時の措置】**

着火源をすべて除去する(隣接地域での喫煙、フレア、スパークまたは火災は禁止)危険を冒さずにできる場合は、漏れを停止させる。製品を取り扱う時に使用するすべての器具は、アースしておく必要がある。流出物質を触ったり、その上を歩いたりしないこと。

人体に対する注意事項	: 呼吸用保護具を着用すること。
保護具及び緊急時措置	: 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 公共用水域に流さないよう留意する。
回収、中和	: 吸収剤に吸収させて回収する。

---

**【7 取扱及び保管上の注意】**

取 扱	: 温度が40℃以上の所や火気のある所では取り扱わないこと : 長時間噴射させないこと : 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 : 容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える、又はひきずる等の乱暴な取り扱いはしてはならない。
保 管	: 皮膚に触れたり、目に入る可能性のある場合には保護具を着用する。 : 容器は密閉し冷暗所に保管する。 : 火気、熱源より遠ざける。 : 直射日光が当たらないように保管する。

---

**【8 暴露防止及び保護措置】**

設備対策	: 換気を良くする。ミストが発生する場合は発生源の 密閉封化、又は廃棄装置を設ける。取扱場所の近辺 に、洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。
呼吸器の保護具	: 保護マスク(半面型フィルター呼吸器 有機ガス用吸収缶)
手の保護具	: 保護手袋(長時間または繰り返し接触しそうな場合、耐化学薬品性手袋が推奨される。前腕への接触がありそうな場合、長手袋を着用する。選定の明確なアドバイスなどは保護手袋の製造業者に問い合わせる)
目の保護具	: 安全ゴーグル(接触が生じそうな場合、側面シールド付き保護メガネが推奨される)
皮膚及び身体の保護具	: 耐化学薬品性、耐熱性、耐油性の保護衣、長靴、前掛け等
衛生措置	: 本物質を取り扱った後、手を洗ってから飲食や喫煙をする。

汚染物質を取り除くために定期的に作業着、保護具を洗濯し、洗濯できない汚染された衣類及び靴などは廃棄する。

許容濃度

成分名	管理濃度	日本産業衛生学会	許容濃度 ACGIH
石油系炭化水素	データなし	データなし	データなし
LPG (イブタン ノルマルブタン プロパン)	規定なし	1000ppm	1800mg/m <sup>3</sup>
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	データなし	データなし	2mg/m <sup>3</sup>

【9 物理的及び化学的性質】

当該化学物質等の外観物理的状態 : 液体 (○) エアゾール包装で容器内部は液体状態  
: 気体 (○) 解放時

色 : 無色透明

臭い : 溶剤臭

Ph : 該当しない

流動点 : 原液・データなし ガス・データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲 : 原液・データなし ガス・-42~-0.5℃

融点 : 原液・データなし ガス・データなし

引火点 : 原液・119℃ ガス・-104℃

発火点 : 原液・420℃ ガス・405℃

燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : 上限 下限  
原液 1.0 ~ 7.0 vol%  
液体 1.8 ~ 8.5 vol%

比重 (相対密度) : 原液 0.86 ガス 0.55

蒸気密度(空気=1) : 原液 データなし ガス 0.278~1,275 Mpa(40℃)

蒸気圧 : データなし

【10 安定性及び反応性】

【安定性】

通常の条件下では安定

【反応性】

強酸化剤と接触すると激しく反応する

【危険有害な分解生成物】

不完全燃焼により、CO・NOxなどが考えられる。

【その他の反応性情報】

常用温度(20℃)では缶内圧は、約0.23MPaであるが、40℃以上になると爆発の恐れがある。

【11 有害性情報】

物質名	急性毒性(LD50, LC50等)				
	経	経	吸入(ガス)	吸入(蒸気)	吸入(粉塵、ミスト)
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	区分4	区分5	分類対象外	分類できない	分類できない
	1,559 mg/kg	2,500 mg/kg			
石油系炭化水素	区分外	区分外	分類対象外	分類できない	区分4
LPG	プロパン	分類対象外	区分外	分類対象外	分類対象外
	ノルマルブタン	分類対象外	区分外	分類対象外	分類対象外
	イブタン	分類対象外	区分外	分類対象外	分類対象外

物質名	皮膚腐食／刺激性	眼損傷／刺激	呼吸器感受性	皮膚感受性	生殖細胞変異原性
2.6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	区分3	区分2B	区分外	区分1	区分外
石油系炭化水素	区分3	区分2B	分類できない	区分外	区分2
プロパン	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
LPG	ノルマルブタン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
	イブタン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

物質名	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器 (単回)
2.6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	区分外	区分外	区分1 (神経系)
石油系炭化水素	区分外	分類できない	区分2 (肺)
プロパン	分類できない	分類できない	区分3 (麻酔作用)
LPG	ノルマルブタン	分類できない	区分3 (麻酔作用)
	イブタン	分類できない	区分3 (麻酔作用)

物質名	特定標的臓器 (反復)	吸引性呼吸器有害性
2.6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	区分2 (肺、肝臓、甲状腺)	分類できない
石油系炭化水素	区分1 (肺)	区分1
プロパン	分類できない	分類対象外
LPG	ノルマルブタン	分類対象外
	イブタン	分類対象外

## 【12 環境影響情報】

物質名	水生環境有害性 (急性)	水生環境有害性 (慢性)
2.6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	区分	区
石油系炭化水素	分類できない	分類できない
プロパン	分類できない	分類できない
LPG	ノルマルブタン	分類できない
	イブタン	分類できない

## 【13 廃棄上の注意】

### 【残余廃棄物】

中身を使い切ってから廃棄する。

容器、機器装置等を洗淨した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

### 【汚染容器・包装】

内容物や容器を廃棄する際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託して下さい。

## 【14 輸送上の注意】

### 【共通】

取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

運搬に際しては、容器を40℃以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

### 【陸上輸送】

消防法、労働安全衛生法、ほか法令の輸送について定めるところに従うこと。

### 【海上輸送】

船舶安全法に定めるところに従う。

### 【航空輸送】

航空法に定めるところに従う。

【15 適用法令】

高压ガス保安法	エアゾールの為、非該当
消防法	第4類 第三石油類
毒物及び劇物取締法	混合物の為、非該当
労働安全衛生法	危険物（引火性の物、可燃性ガス） 名称を表示すべき有害物質含有 通知対象物質含有 有機溶剤中毒予防規則（非該当）
化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質含有
船舶安全法	危険物（高压ガス）

---

【16 その他情報】

- \* 化学物質等安全データシート（MSDS）
- \* 第1部：内容及び項目の順序 J I S Z 7 2 5 0
- \* 産業中毒便覧（医歯薬出版株式会社）
- \* 14705の化学薬品（化学工業日報社）
- \* 改訂第2版 労働安全衛生法 MSDS対象物質全データ（化学工業日報社）
- \* 改訂第2版 緊急時応急措置指針（日本規格協会）
- \* 危険物船舶運送及び貯蔵規則（海文堂）
- \* GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ）
- \* GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック（日本塗料工業会）
- \* GHS対応版ラベル・MSDS作成マニュアル（日本オートケミカル工業会）
- \* 溶剤ポケットブック（オーム社）